



「クンドル(KUNDL)」は九州国連寄託図書館の英語の頭文字です

クンドルニュース



Depository Library

Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館

高校生対象、国連に関する講演会とワークショップを開催しました！

日時：平成29年11月5日(日) 13時30分～16時30分

会場：福岡市総合図書館 第1会議室(3階)

主催：日本国際連合協会福岡県本部 国連フォーラム九州支部
福岡市総合図書館(九州国連寄託図書館)

後援：福岡県教育委員会

参加者：高校生49名 中学生1名

大学生スタッフ(国連フォーラム九州支部メンバー) 17名

内容：①講演「世界のために自分でデザインする人生～21世紀を生きる～」
講師 久木田純氏(関西学院大学教授、元国連職員)

②参加型ワークショップ「国連グローバル目標と私たちの未来」
ジブンシ・セカイシ・ミライシ ～タシテンから見えてくるもの～



テーマ：「私たちの未来を考える～
国連が目指す世界と人生デザイン～」



平成27年の初開催から3回目、市内はもちろん、県外からの高校生の参加もあり、会場は熱気に包まれました。久木田氏の講演では、学生時代から自分の人生計画をどう描いてきたのかをわかりやすくお話いただき、参加者の皆さんの興味をひきつけました。国連で働くという目標に向かって突き進む熱意、国連職員としての波乱万丈な経験、そして大きなやりがい。質疑応答では、待ってましたとばかりに、何人もの手が上がり、その積極的な姿勢が会場の雰囲気をおおいに盛り上げました。

参加型ワークショップでは、国連フォーラム九州支部メンバーの大学生が中心となり、高校生たちを優しくサポートして、活発な意見が交わされていました。高校生にとって大学生は憧れの、しかし年の近い頼もしい先輩。ワークショップを通して、大人と話すのとはまた違う、打ち解けた様子が見られました。

昨年参加した高校生のひとりが、「大学生になったら、自分が勇気をもらったこのイベントにスタッフとして参加したい」との思いを実現し、今年はスタッフ側で張り切っている姿がとても頼もしく、印象的でした。

3年間の開催で約200名の高校生、大学生が集った当イベント！熱意をもった若者たちが、自信を持って世界に羽ばたいていききっかけになればと願います。

Act Globally
未来を創る
若者ファイル



世界目線で頑張っている若者を
紹介していくコーナーです！

伴 ちひろさん

Q 簡単に自己紹介をお願いします

—九州大学 21世紀プログラムの2年生で文化人類学を勉強しています。国連フォーラム九州支部のリーダーとして、勉強会や今回の高校生向けのイベントなどを企画しています。

Q 今後の目標は？

—世の中のあらゆる不条理に立ち向かっていくこと

Q 好きな言葉は？

—“stay hungry, stay foolish” by Steve Jobs

今回のイベントの指揮をとってくれた伴さん！熱い情熱、優しい笑顔、周囲への細やかな心配りが印象的な、とても素敵な女性です。

Q 感銘を受けた本はありますか？

—『Good luck』 Alex Rovira, Fernando Trías de Bes./著
(総合図書館に所蔵あります！資料番号：1009356310)

Q 印象に残る海外体験は？

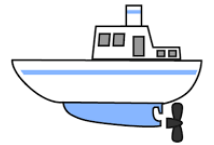
—大学一年生の時に参加した日韓交流プログラム。韓国人の日本に対するリアルな思いを初めて聞いて、民間レベルの平和を築いていくことが国家レベルの平和に繋がるのではないかと実感することができました。

Q 自己アピールをどうぞ！

—国連フォーラムが九州で国を超えたレベルでの社会課題に興味がある人たちのプラットフォームになれるように試行錯誤していきたいと思います。

◆◆今月の注目図書◆◆

(日本語タイトルは
仮訳です)



『Review of maritime transport 2017』

(海上運輸レビュー 2017)

UN, 2017 xiii, 114 p. Sales No. E.17.II.D.10

ISBN 9789211129229 国連書架 A2

国連貿易開発会議(UNCTAD)の主要出版物のひとつ。世界の貿易取引量の8割を占める海上輸送に焦点をあてたシリーズで、当館では1968年の初版より所蔵しています。海上輸送による貿易の動向や地域間の比較、各国の統計をカラーのグラフや表を用いて掲載。

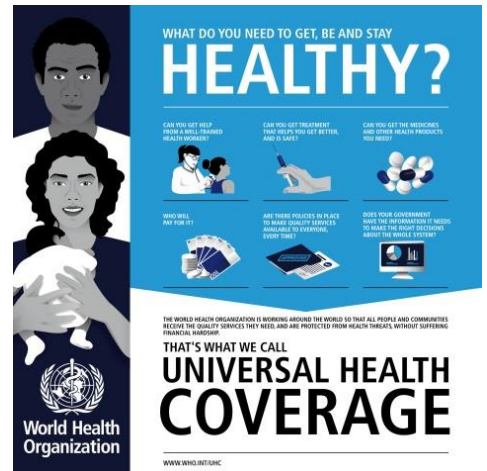
2017年版の特集は、海上輸送における接続性に関して特集し、主要地域のLSCI(定期船サービス連結度指数)等を挙げ、その重要性を解説しています。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)

～すべての人に健康を～

世界保健機関(WHO)によると、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジとは、世界中で全ての人が必要な時、必要な場所で、経済的に困窮せずに、必要な保健医療サービスを受けられる状態を指します。世界では4億人以上の人が基礎的な保健医療サービスを受けられず、また少なくとも1億人が、毎年医療費のために貧困に陥っています。世界各国は、この状況の改善に取り組み始めています。UHCの実現は貧困の削減、雇用の創出、経済成長の推進、男女平等の促進、感染症流行の予防につながります。

国連は、UHCへの投資はより安全・公平・健康な世界をつくる最良の投資としてその実現を目指しています。



検索

決議全文

動画(WHO)

UHCを促す国連総会決議(邦訳) [【http://www.unic.or.jp/files/a_res_67_81.pdf】](http://www.unic.or.jp/files/a_res_67_81.pdf)

UHCとは [【https://www.youtube.com/watch?v=B0M2nnZJw-c】](https://www.youtube.com/watch?v=B0M2nnZJw-c)

ご存知ですか?
国際デー

1月27日 JAN

ホロコースト犠牲者を
想起する国際デー

The International Day in
memory of the victims of the
Holocaust

2005年11月、国連総会は、ユダヤ人の3分の1、また無数のマイノリティーの人々が殺害されたホロコーストを再確認し、敵対感情、人種差別、偏見がもつ危険性を人々に警告することを目的に、決議60/7を採択しました。1月27日は、ユダヤ人強制収容所のアウシュビッツが解放された日に由来します。

数百万の罪のない人々が受けた苦難に思いを馳せ、あらゆる憎悪がはらむ危険を強く認識する日です。

ホロコーストと国連アウトリーチ・プログラム(英語):

[【http://www.un.org/en/holocaustremembrance/】](http://www.un.org/en/holocaustremembrance/)

編集後記



2018年になりました。今年もよろしくお願いたします!

2020年の東京オリンピックもまだ先とっていましたがもう再来年です。国連の開発目標SDGsの達成期限、2030年も刻々と近づいてきています。今後もSDGsの取り組みに関しては紹介していこうと思います。

お気軽に2階国際・国連カウンター
にお立ち寄りください!



九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階

TEL 092 (852) 0628 URL <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp>

開館時間: 10:00~20:00

10:00~19:00(日・祭日)

*相談業務は19:00(日・祭日)18:00まで

休 み : 毎週月曜・毎月月末

(休日のときはその翌平日)

年末年始・図書特別整理期間